

KUAJ No.08

Kobe University Architectural Journal 2020



KU A J No.08

Kobe University Architectural Journal 2020

目次	ページ
00 建築学科・建築学専攻紹介	01
01 卒業設計	02
02 修士設計	14
03 造形演習 A・B	24
04 設計基礎 A	25
05 設計演習 I A	26
1. RC造トレース 2. 木造住宅トレース	
設計演習 I B	
POST-COVID-19のワークスペース 阪急六甲駅周辺に建つ小事務所	
06 設計演習 II A	29
住宅設計	
設計演習 II B	
地域の図書館 - 地域図書館 + ○○○ -	
07 設計演習 III A	34
都賀川沿いに建つ<子育てスクエア>	
設計演習 III B	
面構造によるメモリアル空間	
08 計画演習 I A	40
近畿圏の大学のためのセミナーハウス	
計画演習 I B	
CAMPUS × ARCHITECTURAL STUDIOS	
09 計画演習 II A・B	47
1. 神戸ウォーターフロント マスタープラン課題	
2. 神戸ウォーターフロント ランドスケープ課題	
10 設計演習特論	51
A CITY OF NEW NORMAL: withコロナ/afterコロナの都市	
11 設計基礎A 特別演習	56
12 2020年度 卒業設計・修士設計題目一覧	57
13 2020年度 卒業論文・修士論文題目一覧	58
14 2020年度 コンペ受賞者一覧	60
2020年度 デザイン関連演習科目 担当一覧・建築学教室 構成と教育組織	

環境との共生、安全で豊かな生活空間の創出

建築学は人間生活の基盤である生活空間を創造する最も普遍的な学の一つです。人と地球に関わる普遍的課題と先端的課題に応えるためには、「計画」・「構造」・「環境」という建築の基礎的学問領域を修めると同時に、これらを総合して課題に対応する「空間デザイン」の能力が求められます。

構成

空間デザイン講座

建築・環境デザイン、構造デザインから、構造・情報システム、環境マネジメントまでの空間創出のための総合的・実践的なデザインに関する教育研究を行います。

建築計画学講座

建築史、建築論、歴史環境の保全修復計画、人間居住と住宅・地域計画、建築・都市防災と建築計画、都市計画の基礎理論に関する教育研究を行います。

建築構造工学講座

建築構造物の安全性、各種構造物の部材や接合部の力学挙動と構造解析、耐震構造・制振構造などの耐震安全性、性能向上、構造システム等に関する教育研究を行います。

建築環境工学講座

建築物における音、熱、空気、光などの環境の解析と制御及び計画に関する教育研究を行います。

地域減災計画

平成17年度から総務省消防研究センターと連携し、地域減災計画の教育研究分野における連携講座が設置されました。都市レベルあるいはコミュニティレベルの災害や犯罪等の危険度を予測し制御する技術を開発するとともに、その情報を共有化し視覚化する支援システムを構築し、さらには環境減災設計デザ

建築学科(学部)・建築学専攻(大学院)は、変化する時代に的確に、また、総合的に対応できる人材の養成を目指して、専門性と総合性の結合した教育を行います。

イン手法として体系化することを目指し、それらのシステムや手法を具体的な地域空間に適用することによって、安全な地域空間形成をはかる教育研究を行っています。

減災デザインセンター(CResD)

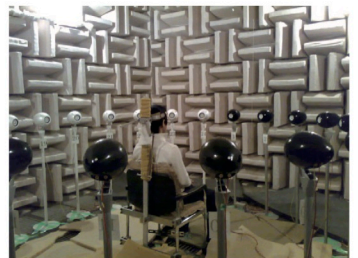
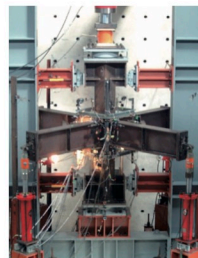
平成29年度に設立されたセンターで、減災社会実現のため様々な知見を、「デザイン」を通して社会実装していく手法開発のための研究拠点です。国際的視野で、しなやかな都市社会の創造をめざして、実験的、実践的、開放・融合的な研究を分野横断的にを行います。

レジリエント構造研究センター(ReSRC)

レジリエント構造研究センターは、巨大地震などに対して構造工学の多角的な研究を統合し、都市レベルでレジリエンスを向上させる研究を推進します。国際的な研究成果の達成を目指し、国内外の機関とも連携して、災害に強い未来都市の創生に取組みます。

グラフィックスリテラシー教育研究センター(GLEC)

令和2年度に設立されたセンターで、建築計画、都市計画、環境やエネルギーのマネジメント、工業デザインなどを包含し、専攻横断的にあらゆる方面のマルチスケールなグラフィックスリテラシーにおける審美的な考察も含めた基礎学と先端知識についての先進的教育と、実践としての研究を推進します。



Symbiosis of architecture and environment, Creation of safe and comfortable living space

Architecture is an eminently universal field of learning, concerning the creation of housing and architectural facilities as necessary components of human life. In order to respond to both universal and up-to-date architectural problems, it is necessary not only to study basic fields of architecture (design and planning, structural engineering, environmen-

tal engineering) but also to synthesize them for spatial and temporal design problems. The Department of Architecture aims at rearing talented professionals who can correspond synthetically to contemporary architectural challenges, by providing education with both specialization and synthesis.

Structure and Divisions

-Spatial Design Division

Synthetic and practical education and research on the creation of space: Architectural and Urban Design, Housing and Community Design, Structural Engineering and Design Building Management.

-Architectural Planning Division

Basic education and research on architectural design: History and Theory of Architecture, Theory of Historical Environments, Planning Theory of Built Environment, Urban and Architectural Safety Planning.

-Engineering of Building Structures Division

Education and research on the safety of buildings subjected earthquakes, improvement of building materials and structural systems: Structural Performance Engineering, Structural Control in Dynamics, Structural Systems Engineering.

-Architectural Environmental Engineering Division

Education and research on analysis, control, and planning of architectural and urban environment:

Planning of Acoustical and Lighting Environments, Thermal Environmental Planning, Planning of Urban Environment and M & E Services.

-Disaster Mitigation Planning Division

This division aims to conduct practical research on a system that can respond precisely, and in a practical and effective manner, to natural disasters such as earthquakes and typhoons as well as other emergencies.

-Center for Resilient Design(CResD)

This design center is a research base for developing methods to implement various ideas socially through "design" in order to realize a resilient society. From an international perspective, we will conduct experimental, practical, collaborative research cross-cutting in order to create a safe and comfortable urban society.

-Resilient Structure Research Center (ReSRC)

To protect buildings and infrastructures in the urban area against extreme disasters, Resilient Structure Research Center (ReSRC) in Kobe University has been established since June 2016 to enhance the urban resilience researches from the structural engineering view.

-Graphics Literacy Education and Research Center (GLEC)

The center focuses on advanced education and research encompassing multiscale engineering design literacy for urban and architectural planning, industrial design and energy flow design, including a wide variety of disciplines from large to microscopic scale.

2020年度 デザイン関連演習科目 担当一覧

	前期		後期	
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
学部 1年生	造形演習A (8回)	造形演習B (8回)	設計基礎A (15回)	設計演習IA (14回)
	平面 藤原洋次郎 (平面作家) 立体 小林照尚 (彫刻家)	平面 藤原洋次郎 (平面作家) 立体 小林照尚 (彫刻家)	槻橋 修 (准教授) 後藤沙羅 (助手)	近藤民代 (准教授) 山口秀文 (助教) 後藤沙羅 (助手)
学部 2年生	設計演習IB (13回)		設計演習IIA (14.5回)	設計演習IIB (14.5回)
	北後明彦 (教授) 中江 研 (准教授) 山口秀文 (助教)		山崎寿一 (教授) 近藤民代 (准教授) 山口秀文 (助教) 島田 陽 (島田陽建築設計事務所) 山隈直人 (kt 一級建築士事務所)	槻橋 修 (准教授) 栗山尚子 (准教授) 深川礼子 (ofa)
学部 3年生	設計演習IIIA (18.5回)	設計演習IIIB (19.5回)	計画演習IA (21.5回)	計画演習IIB (21.5回)
	槻橋 修 (准教授) 小林直紀 (安井建築設計事務所) 中江 哲 (鹿島建設)	遠藤秀平 (教授) 光嶋裕介 (光嶋裕介建築設計事務所) 竹口健太郎 (アルファヴィル)	末包伸吾 (教授) 中江 研 (准教授) 浅井 保 (助教)	近井 務 (大林組) 小幡剛也 (竹中工務店) 本田孝子 (日建設計)
学部 4年生	計画演習IIA (13.5回)	計画演習IIB (23.5回)	卒業研究	
	所属研究室教員 近藤民代 (准教授) 栗山尚子 (准教授)	吉武宗平 (鳳コンサルタント) 八木弘毅 (日建シビル) 近藤民代 (准教授) 栗山尚子 (准教授)	所属研究室教員	
博士課程前期 1年生	設計演習特論A (12.5回)	設計演習特論B (13.5回)		
	所属研究室教員	遠藤秀平 (教授) 末包伸吾 (教授) 槻橋 修 (准教授)		

2020年度 建築学教室 構成と教育組織

(2021年3月時点)

講座名	教育研究分野	教授	准教授	助教・助手	技術職員	事務職員
空間デザイン	建築・環境デザイン	遠藤秀平	槻橋 修 光嶋裕介*2	浅井 保	山本一貴	北村貴子
	構造デザイン	多賀謙蔵			橋高康介	小笹真季
	構造・情報システム	谷 明勲	山邊 友一郎			
	環境マネジメント		竹林英樹 鈴木広隆		金尾優	
建築計画学	建築史・建築論	末包伸吾	中江 研	後藤沙羅*3		
	都市・地域計画	山崎寿一	栗山尚子	山口秀文		
	住環境・防災計画	北後明彦	近藤民代			
建築構造工学	鋼構造	田中 剛	難波 尚	浅田勇人		
	鉄筋コンクリート構造	孫 玉平	大谷恭弘 藤永 隆	竹内 崇		
	振動工学	藤谷秀雄	向井洋一			
建築環境工学	音・光環境計画	阪上公博	佐藤逸人	奥園 健		
	熱・空気環境計画	高田 暁				
		大谷弘明*1 近井 務*1 竹口健太郎*1 中江 哲*1 小幡剛也*1				

*1 客員教授, *2 特命准教授, *3 助手

編集後記

KUAJ 2020 No.08 は、神戸大学大学院工学研究科建築学専攻・工学部建築学科の2020年度の修士論文・設計、卒業論文・設計、そしてデザイン関連演習科目の主な学生作品をまとめたものです。本誌を通じて建築学教室の教育研究の一端が伝わりますと幸いです。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、世界中の皆さんと同じように、私たち学生・教職員の日常にも変化をもたらしました。教育や研究が活動の制限を受ける一方で、演習の課題設定や提出作品などにみるように、時代の変化に即した新たな課題を考えたり、変わらない大事なことを見つけたりする機会となりました。今号は、いわばこうしたコロナ禍における私たちの行動と成果の記録であり、その意味で特別な価値を持ちうるものです。

本誌編集に際して、上山貴之さん、向上沙希さん、佐田桜さん、藤原比呂さん、檀野航さん、以上5名の大学院生にKUAJ編集委員として多大なご協力を賜りました。大石祥子さんには素敵な写真をたくさん撮ってもらいました。彼ら彼女らとそのチームワークなしにはお届けることはかないませんでした。ここに記して心より感謝の意を表します。
(山本一貴／編集担当)

KUAJ 2020 No.08

神戸大学大学院工学研究科建築学専攻・工学部建築学科作品集

2021年3月25日発行

編集担当

教職員：山本一貴（技術職員）

学生：上山貴之（A68） 向上沙希（A68） 佐田桜（A68）

藤原比呂（A68） 檀野航（A68）

表紙／裏表紙撮影：大石祥子（A68）

発行：神戸大学建築学教室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

TEL：078-803-6065（建築学事務室）

印刷・製本：一印刷

神戸大学大学院工学研究科建築学専攻

神戸大学工学部建築学科